

平成28年10月18日

平成28年度松浪地区まちぢから協議会 第三回市民安全部会次第

日時；平成28年10月18日（火）19：00～20：00

場所：松浪地区コミュニティセンター2階ホール

市民安全部会 白石部会長  
長谷川副部会長

1. 開会

2. 松浪地区まちぢから協議会植松会長挨拶

3. 市民安全部会長挨拶

4. 議事

(1) 9月10日（土）開催された市民集会の分科会（市民安全部会）の結果について

市役所関係者出席者 夜光副市長・梅原安全対策課長・関野都市政策課長

住民出席10名（男8名、女2名）

\* 意見交換内容は別紙長谷川メモ参照

(2) 今後取り組むべき課題について

例：空き家対策、交通マナー

(2) その他

5. 閉会

以上

松浪地区市民集会メモ

1. 分科会テーマ

市民安全部会

2. 司会進行・記録氏名

司会進行 白石 壽明（松浪1丁目自治会長）

記録 長谷川 清（松浪2丁目自治会長）

3. 行政側出席者

夜光副市長

梅原安全対策課長

関野都市政策課長

4. 分科会参加人数

10名（男性8名、女性2名）

5. 意見交換の内容

【JR東海道踏切について】

Q：浜竹1丁目浜竹踏切をJR東日本はきちんと点検して、事故が起こらないよう整備してほしい。

過去に、電動カートのタイヤが脱輪したことがある。

A：当該踏切は勾配がある。

指摘の踏切については、JR東日本に点検、改修について伝えてある。

踏切が狭く、坂になっている。更に先の道が狭く踏切を広く出来ないのが現状である。

【空き家の活用方法について】

Q：浜竹2丁目にある一軒の自宅に関して、木が大きくなり困っている。所有者について行政からは情報提供はできないと言われた。そのため依然として問題の解決が図られていない。市が借り上げてほしい。

所有者は公図を確認すれば解るはずである。条例を定めて進めてほしい。

問題が先に進まない、市はスケジュールを作成して進めてほしい。

市で空き家を借り上げ、地域で活用する方法を検討してほしい。

空き家は、色々な点で不安である（タヌキが住み着いている）。近所の人たちのことも考えてほしい。

有識者の意見を取り入れ、条例化すれば木の伐採は出来るのではないか。

A：空き家問題は、環境保全課で対応している。

弁護士からは、木の伐採は本人の確認を取らないと難しい、了承を得て実施が必要であると言われている。

空き家問題は、相続が決まっていない等所有者が複雑であり、このことが問題の解決を難しくしているため、進んでいない。

空き家対策特別措置法が出来たが、特定空き家の基準を定めて指定しないといけない。今年度中に特定空き家を定める予定である。

松林地区では、まちぢから協議会が市の補助金で空き家を借り上げ、子供たちの施設を作っているという実績もある。

【信号機の待ち時間について】

Q：信号機の待ち時間を短くしてほしい。信号機が前後の信号機と連動になっていることが原因であり、その必要はないと考えている。要望書の提出を考えている。

A：茅ヶ崎警察署に確認して所、当信号機は連動して変わるようになっていっていると言っていた。

【ゾーン30について】

Q：富士見町の鉄砲道北側を含めた住宅地域も区域を拡大して実施を検討してほしい。

A：区域の設定については、外周となる道路に中央線が引かれているなどの条件があり、対象となる区域を設定することは難しい。警察と連携を取りながら検討していく。

【安全対策について】

Q：浜須賀交差点から県道30号線の入り口付近は、相変わらず駐車違反のトラックが多い。なんとかならないか。

常磐町交差点付近のセブンイレブン・ホンダ側の歩道が広いため自転車はこの歩道を利用している。小学生がこの歩道を通行するため危険である。

A：『違法駐車取り締まり重点地域』を明示して、警察と連携を取りながら進めていく。

歩道の件に関しては、県警に確認した所自転車は車道走行が原則であるとの回答を得た。市として出来る方法を検討する。

以上

作成・文責  
松浪2丁目自治会長  
長谷川